

### i まるシエ 6周年記念イベント



早朝から大行列の大抽選会

10/19 上

感謝を込めて年に一度  
飯南町アンテナショップ「まるシエ」(三次市)で「6周年記念イベント」を開催しました。

当日は「特産品が当たる大抽選会」「きのこの詰め放題」「新米すくいどり」などの催しを開催。開店と同時に多くの人が来場し、売り切れとなる農林産物が出るほどの大盛況となりました。

このイベントは、飯南町の質の良い農林産物や特産品、観光施設等を町の多くの人に知ってもらい、町内農林産物の売上向上や観光客の増加につなげることを目的に開催しています。

### 図 解絵本 「工事現場」寄贈

10/9 水

島根県雲南地区建設業協会青年部から「図解絵本『工事現場』」4冊の寄贈を受けました。

本には「掘る」「固める」「組み立てる」「材料を作る」など、工事現場の作業工程が子どもたちにも分かりやすく描かれています。町内の建設業協会青年部の皆さんは「絵本から建設工事に興味を持ってもらい、将来の担い手となってくれることを期待しています」と話していました。



絵本を手渡した雲南地区建設業協会青年部長 日野和人さん(左)

この本は、町内の各小学校に設置される予定です。  
■問合せ  
教育委員会 電話76,3944

### ヒ トカラ Hitocolor、イイナン

10/6 日



アットホームな雰囲気です講座が始まりました

今回は「飯南町ってどんなまち」をテーマに、古屋敷ガーデン中西邸(小田)で開催し、自分たちのまちを見つめ直しました。

オナーの中西秀幸さんから屋敷とその歴史の紹介があり、参加者たちは身近な魅力を発見した様子。後半は「東京で二目ぼれした異性を飯南町に呼ぶために」というお題で、気になる相手思い浮かべながら、知恵を絞りました。中には、飯南町と都市を行き来する「二地域居住」というライフスタイルの提案もありました。

### 大しめなわ創作館 5周年記念イベント

10/26 土

大しめなわ創作館とその周辺で開館5周年を記念したイベントを開催しました。

メインステージは、しめかざり研究家の森須磨子さんの記念講演「しめかざり再発見〜あらためて学ぶ、その意味と心〜」やしめ縄早織い選手権、い〜にゃんとしまねっこの共演などで賑わいました。

その他にもほり体験や、クイズなどの合計点で順位を競うウォークラリー、町内外のおいしい食べ物が集まった飲食ブースなど、約500人の



しめ縄早織い選手権に出場した選手たち

来場者が秋の飯南町を満喫してました。

### 地域おこし協力隊 まちを元気に！

飯南町内のさまざまな地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は谷地区担当の三宅修平隊員の活動報告です。



私(三宅)も出演

11月10日(日)、九回目となる「ふれあい神楽交流大会」が谷笑楽校体育館で開催されました。見々久神楽保持者会(出雲市)、佐野神楽社(浜田市)、飯南神楽団が出演し、町内外の多くの来場者で賑わいました。今回初の試みで、志々地区協力隊の栃木さんに「噂の大判焼き」を出店してもらったこともあり、より一層豪華な大会となったのではないかと思います。しかし本大会は、今回の開催をもって九年間の歴史に幕を下ろします。



かっこいいポスター。私が作りました



飯南神楽団「土蜘蛛」より

す。地域の大きな催しがつ減ってしまふのは寂しいことですが、谷地区には年間を通してまだまだたくさん催しがあります。地域の活力となるようなイベントをこれからも我々若い世代が支えていければと考えています。

飯南神楽団の今後の予定ですが、11月30日(土)に道の駅とんぼらで神楽祭、翌12月1日(日)には谷笑楽校で飯南神楽団太刀納めに出演します。詳細はホームページにて。皆さんの来場を心よりお待ちしております！

### 飯南町功労者表彰を受賞されました

11/3 日



三仙会会長安部朋次さん(左)と副会長牧原正さん(右)

「飯南町 日本一大しめ縄」などの看板を来島三日市に設置し、国道54号線を通行する人への魅力を発信し、また農地でタマネギやヒマワリなどの景観作物を栽培し、収穫した野菜を単身高齢者宅に配布するなど、地域の活性化や福祉活動、環境美化に20年に亘って尽力されました。

三仙会は、住んでいる地域を活性化し、魅力ある地域・住みよいまちづくりを目的として平成11年に発足。名称は三日市から望む弥仙山(琴引山)と21世紀を展望し、夢を持つて活動するという想いから付けられました。

### ●大上 教貳さん(角井)

大上さんは、平成20年から28年まで志々公民館館長として地域に密着した公民館活動を展開し、地域を担う人づくりや子どもから大人までを対象とした社会教育の推進に尽力されました。

また平成23年から8年間、志々自治区長、平成29年からは自治区長連絡会副会長として地域の人たちの困りごと相談など、地域の交流推進や地域活性化に貢献されました。



大上 教貳さん